

<対策のポイント>

みどりの食料システム戦略等を踏まえた農業生産基盤の強化や国土強靱化に資する、より効果的・効率的な農業農村整備事業の実施に係る基礎技術を確認し、計画基準等に反映するための調査を実施します。

<政策目標>

農業の生産力向上と持続性の両立及び国土強靱化に資する農業農村整備の推進

<事業の内容>

1. 計画基準調査

社会経済情勢の変化や科学技術の進歩に応じた土地改良事業の計画基準の改定に係る調査、検討を実施します。

2. 環境影響評価指針調査

環境影響評価の実績及び最新の科学的知見を踏まえた土地改良事業における環境への影響の予測及び評価に関する調査、検討を実施します。

3. 地下水調査

農業用地下水の利用状況、賦存状況及びその資源的価値の把握並びに地下水の開発・利用及び保全に係る調査、検討を実施します。

4. 地すべり調査

地すべり災害から農地及び農業用施設を保全するための地すべり防止に係る調査、検討を実施します。

<事業実施主体>

国（国費率：10/10）

<事業イメージ>

①計画基準調査

- 計画基準の改定に向けた文献や事例の収集、基礎的な諸元の実態調査を実施
- 計画基準ユーザーからの意見等を踏まえた改定案を作成し、有識者による議論を踏まえ、計画基準「農業用水（水田、畑）」等を改定



水田における用水特性調査
（用水量調査）



畑地における用水特性調査
（土壌水分調査）

②環境影響評価指針調査

- 農業用ため池への設置が増加している太陽光発電について、太陽光発電設備の設置が農業用ため池の水質・生態系に及ぼす影響を調査
- 農業用ため池における太陽光発電設備の設置による水質・生態系への影響に関する参考図書を作成



農業用ため池の水面に
設置された太陽光発電設備



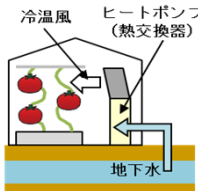
現地調査の様子（水質測定）

③地下水調査

- 農業生産現場における再生可能エネルギーの導入促進に向け、農業生産において地下水の温度利用を推進するため、利用可能量や利用技術を調査・検討
- 作物や生産環境に応じた利用技術や導入による効果等を整理し、農業農村整備事業により地下水の温度利用を促進するための技術参考資料を作成



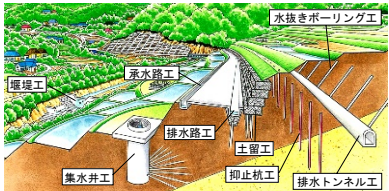
基盤整備が実施された地域における
農業生産現場（イメージ）



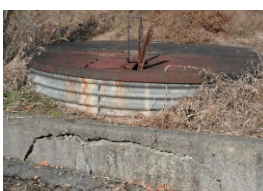
地下水の温度利用のイメージ

④地すべり調査

- 地すべり防止施設の経年変化実態の整理・分析を通じて、地すべり防止施設の劣化特性等を踏まえた長寿命化手法やライフサイクルコスト算定の手法を検討
- これらの結果を踏まえ、地すべり防止施設に関する予防保全型維持管理の手法等の技術資料を作成



地すべり防止施設のイメージ



老朽化した集水井工の例